

【2021 年度/専門科目領域/専門基礎科目群/福祉学系】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
就労支援サービス		必修 (理.作.社.精) 選択 (心)	2	2 (理.作) 2.3 (社.精.心)	前期
担当教員	研究室	電子メール ID		オフィスアワー	
田村 正人 他	B308	masato.tamura		水曜日 12:10~13:00	
授業の目的・概要	<p><目的> 「働く」 ことの意味を理解したうえで、就労支援が必要な対象者、社会的背景を学び、専門職による就労支援について理解を深める。</p> <p><概要> 教科書を中心に講義を進め、必要に応じて事例を紹介して具体的なイメージをもてるように講義を進める。</p>				
学習上の助言	就労は生活と切り離せない身近なことなので、日頃からニュースなどに関心をもつことで、教科書の内容について具体的なイメージが持ちやすくなる。				
教科書	新社会福祉士養成講座 18 第 4 版 就労支援サービス /編:社会福祉士養成講座編集委員会/中央法規出版				
参考書	指定参考書なし (テキスト以外の必要資料は別途配布し、引用元として参考図書を紹介する。)				
学生が達成すべき行動目標				関連卒業認定・学位授与方針	
①	雇用・就労の動向と施策について理解し、説明することができる。			HSU(2)	
②	労働に関する法律と制度について理解し、説明することができる。			HSU(2)	
③	就労支援が必要な対象者と社会的背景について理解し、説明することができる。			HSU(1)(2)(6)、WP(1)(2)(3)	
④	就労支援に係る組織・団体の役割と実際について理解し、説明することができる。			HSU(2)、WP(2)	
⑤	就労支援に係る専門職の役割と実際について理解し、説明することができる。			HSU(1)(2)、WP(2)	
⑥					
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業の方法	学習課題・学習時間 (時間)		
1	オリエンテーション (授業の進め方、評価等についての説明、学習方法について理解する。)	講義	配布プリント、教科書の講義内容を理解する。	4	
2	働くことの意味について考える。	講義	教科書 (序章) を精読する。	4	
3	雇用・就労の動向と施策① 労働市場の変化について学ぶ。	講義	教科書 (第 1 章 第 1 節) を精読する。	4	
4	雇用・就労の動向と施策② 労働に関する法律と制度について学ぶ。	講義	教科書 (第 1 章 第 2 節) を精読する。	4	
5	障害者と就労支援① 障害者の就労の現状と就労施策について学ぶ。	講義	教科書 (第 2 章 第 1、2 節) を精読する。	4	
6	障害者と就労支援② 障害者雇用施策について学ぶ。	講義	教科書 (第 2 章 第 3 節) を精読する。	4	
7	障害者と就労支援③ 特別支援学校の就労支援について学ぶ。	講義	教科書 (第 2 章 第 4 節) を精読する。	4	
8	障害者と就労支援④ 障害者の就労・雇用における民間の取り組みと諸外国の動向について学ぶ。	講義	教科書 (第 2 章 第 5、6 節) を精読する。	4	
9	低所得者と就労支援① 低所得者の就労の現状について学ぶ。	講義	教科書 (第 3 章 第 1 節) を精読する。	4	
10	低所得者と就労支援② 低所得者にかかる就労支援について学ぶ。	講義	教科書 (第 3 章 第 2 節) を精読する。	4	
11	専門職の役割と実際① 障害者福祉施策と雇用施策における専門職の役割について学ぶ。	講義	教科書 (第 4 章 第 1、2 節) を精読する。	4	
12	専門職の役割と実際② 低所得者の就労支援における専門職の役割等について学ぶ。	講義	教科書 (第 4 章 第 3、4 節) を精読する。	4	
13	就労支援の連携と実際① 就労支援における連携の過程について学ぶ。	講義	教科書 (第 5 章 第 1 節) を精読する。	4	
14	就労支援の連携と実際② 就労支援における連携の意義について学ぶ。	講義	教科書 (第 5 章 第 2 節) を精読する。	4	
15	就労支援の連携と実際③ 就労支援における連携の実際とさまざまな働き方の支援について学ぶ。	講義	教科書 (第 5 章 第 3 節、終章) を精読する。	4	
試	定期試験 達成度評価・評価のポイントを参照する。				

【2021 年度/専門科目領域/専門基礎科目群/福祉学系】

総合評価割合 (%)		達成度評価					合計
		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	
		70	0	0	0	30	100
総合力指標	知識・技術力	50	0	0	0	10	60
	思考・推論・創造する力	10	0	0	0	10	20
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	0	0	0	0	0
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	10	10
	問題を発見・解決する力	10	0	0	0	0	10
評価のポイント							フィードバックの方法
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点					
試験	①	✓	学期末に定期試験を実施して評価する。試験は講義で用いた教科書、配布プリントから出題するので、予習や復習を行い理解度を確認すること。				試験解答例を研究室入口と Teams 上に提示する。
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤	✓					
	⑥						
レポート	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
成果発表	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
ポートフォリオ	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
その他	①	✓	講義で学んだことや感想、質問などをリアクションペーパーで提出して頂き、理解度を確認し意欲的に学ぶ姿勢を評価する。				質問については講義中に説明しクラスで共有する。
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤	✓					
	⑥						
備 考							
<p>【受講する際の注意事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本科目は登校型授業であるため、大学が示した感染症予防対策の指針を遵守すること。また感染症予防対策の観点から、教員の指示に従わない行動をとった場合には受講を認めないことがある。その場合、授業は欠席として取り扱う。 ・シラバス内容を講義の進行状況によって変更することがありえる。 ・授業中の私語やスマートフォン等の電子機器類の使用は禁止する。 ・受講態度に問題がある場合、注意しても守れない学生については退室をしてもらう。 <p>担当教員：◎田村正人、渡邊典子</p> <p>※この科目は 3 クラス開講される。理学療法学科の学生は田村担当の指定されたクラスを履修すること。作業療法学科と福祉心理学科の学生は渡邊担当のクラスを履修すること。</p> <p>教員の実務経験：田村正人（社会福祉士取得後 8 年の実務経験）、渡邊典子（社会福祉士取得後 12 年の実務経験）</p> <p>実践的授業の内容：シラバスの内容に基づき教科書を中心に講義を進める中で、必要に応じて適宜教員がこれまで実践してきた知見から、就労支援や就労に関わる事例等を紹介することで、学生がより科目内容を理解できるように授業を行う。</p>							